

や ぼうさい 9. わが家の防災メモ

わが家の避難場所

	避難場所	住所	電話番号
洪水災害時			
土砂災害時			
地震災害時			
津波災害時			

家族の連絡先

家族の名前	連絡先(勤務先・学校)	電話番号	携帯電話番号

緊急連絡先

役場	上ノ国町役場	55-2311	病院	町立上ノ国診療所	55-2017
	石崎出張所	59-2021		町立石崎診療所	59-2341
警察	上ノ国駐在所	55-2003	電話	北海道立江差病院	52-0036
	石崎駐在所	59-2001		NTT東日本北海道函館支店	0138-21-2011
	滝沢駐在所	58-5011		北海道電力江差営業所	52-0085
	中須田駐在所	55-2175	水道		
	湯ノ岱駐在所	56-3022	ガス		
	江差警察署	52-0110			
消防	上ノ国消防署	55-2071			

お問い合わせ先 上ノ国町役場

TEL(0139)55-2311 / FAX(0139)55-2025

E-mail: info@town.kaminokuni.lg.jp

上ノ国町 洪水ハザードマップ



もしもの災害に備えて！！

2010年 保存版

目次

洪水ハザードマップの活用方法・見方	1
1. 日頃の備え	2
2. 避難場所一覧表	3
3. 風水害の心得	5
4. 土砂災害の心得	8
5. 地震の心得	9
6. 津波の心得	9
7. 防災について話し合っておきましょう	9
8. 避難情報が発令!! その時、とるべき行動!!	10
9. わが家の防災メモ	15

洪水ハザードマップの活用方法

- ① 「日頃の備え」を把握して、日頃から災害対策に努めましょう。
- ② 「とるべき行動」を理解し、避難情報が発令されたら、速やかに行動できるようにしておきましょう。
- ③ 自分の住んでいる地区は、どこに避難するのかを「避難場所一覧表」で確認しておきましょう。
- ④ わが家の防災メモに避難場所や家族の連絡先を記入し、いざという時に備えましょう。



洪水ハザードマップの見方

洪水浸水想定区域

天野川が大雨によって増水し町内で堤防が決壊した場合に予想される区域と浸水の深さを示したものです。自分の住んでいる地区が、どの程度浸水するのかを確認し、その後の対応について話し合っておきましょう。

土砂災害危険箇所

土砂災害の多くは、雨や地震の影響で起こります。自分の住んでいる地区及び避難経路上に土砂災害危険箇所があるのかを確認しておきましょう。

※土砂災害警戒区域等ハザードマップは「上ノ国町ホームページ」からも確認することができます。

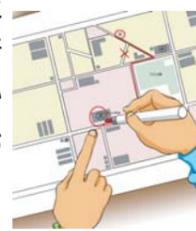
<http://www.town.kaminokuni.lg.jp/bousai/index.htm>



1. 日頃の備え

① 危険箇所を確認しておきましょう

「洪水ハザードマップ」で自分の家や住んでいる地区が、どの程度浸水するのか、土砂災害の危険箇所は近くにあるのかなどを確認しておきましょう。



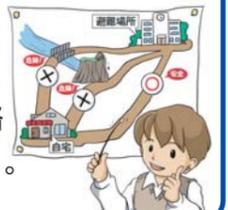
② 広域避難場所・一時避難場所を確認しておきましょう

自分の住んでいる地区が、どこに避難するのか確認しておきましょう。確認ができたなら「わが家の防災メモ」にしっかり記入しておきましょう。



③ 避難経路を確認しておきましょう

自分の家から広域避難場所・一時避難場所までの経路を決めておきましょう。「洪水ハザードマップ」で危険箇所を確認して、安全に通行できる経路を選択しましょう。



④ 災害時要援護者への手助けの準備をしておきましょう

高齢者・障害者・乳幼児・妊産婦などの災害時要援護者は避難時に手助けが必要となります。自分の家や近所に災害時要援護者がいないかを確認し、いざという時に手助けができるように準備しておきましょう。



⑤ 非常持出品の準備をしておきましょう

いざという時のために、非常持出品をそろえ、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。非常持出品チェックリストを参考にしながら家族で準備しておきましょう。



非常持出品チェックリスト(一例)

<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 下着
<input type="checkbox"/> 乾パン	<input type="checkbox"/> 上着
<input type="checkbox"/> レトルト食品	<input type="checkbox"/> タオル
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 雨具
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 軍手
<input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> 生理用品
<input type="checkbox"/> 預金通帳	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ
<input type="checkbox"/> 印鑑	<input type="checkbox"/> マッチ
<input type="checkbox"/> 健康保険証	<input type="checkbox"/> ライター
<input type="checkbox"/> 権利証書	<input type="checkbox"/> 包装用ラップ
<input type="checkbox"/> ばんそうこう	<input type="checkbox"/> メモ用紙
<input type="checkbox"/> 傷薬	<input type="checkbox"/> ペン
<input type="checkbox"/> 包帯	<input type="checkbox"/> ナイフ
<input type="checkbox"/> 胃腸薬	<input type="checkbox"/> 缶切り
<input type="checkbox"/> かぜ薬	<input type="checkbox"/> 割りはし
<input type="checkbox"/> 鎮痛剤	<input type="checkbox"/> 紙皿
<input type="checkbox"/> 通院先の医師から処方されている薬	<input type="checkbox"/> 紙コップ

ひなんばしよいちらんひょう 2. 避難場所一覧表

災害時に備えて、自宅や職場の近くにある避難場所を確認しておきましょう。

- ※1) この避難場所は、浸水想定区域内にあるため、二次避難が必要になる場合があります。
- ※2) この避難場所は、長雨や大雨または、地震により土砂災害の危険があるときは、土砂災害危険区域内にあるため避難施設として使用できません。

番号	対象地区	名称	所在地	電話番号	広域避難場所/一時避難場所
1	神明	神明地区集会施設	湯の岱355-2	56-3233	●一時避難場所
2	湯ノ岱	湯ノ岱生活改善センター ※2	湯の岱160	—	●一時避難場所
3		湯ノ岱小学校	湯ノ岱243-4	56-3004	●広域避難場所
4		湯ノ岱青少年広場	湯ノ岱1041-1外	55-2230	●一時避難場所
5	宮越	宮越地区農業担い手センター ※2	宮越155-4	—	●一時避難場所
6	早瀬	旧宮越小学校グラウンド	宮越158-2外	55-2230	●一時避難場所
7	桂岡	早瀬生活改善センター ※2	早瀬71-1	—	●一時避難場所
8	中須田	桂岡生活改善センター	桂岡149-4	—	●一時避難場所
9	小森	女性活動支援センター	中須田375-2外	55-2824	●一時避難場所
10	豊田	小森生活改善センター ※2	小森246-4	—	●一時避難場所
11		豊田生活改善センター	豊田126-4	—	●一時避難場所
12		河北小学校 ※1	中須田920の4	55-2151	●広域避難場所
13	新村	ハンノキ地区コミュニティ施設	新村375	55-2834	●一時避難場所
14	大留	大留生活改善センター ※1	大留228-7	—	●一時避難場所
15		上ノ国町林業センター ※1	大留91	55-3353	●広域避難場所
16		上ノ国町総合福祉センター ※1	大留90外	55-2230	●広域避難場所
17		町民体育館 ※1	大留100	55-3989	●広域避難場所
18		上ノ国小学校 ※1	大留70-1外	55-2009	●広域避難場所
19	北村	北村コミュニティセンター	北村134-1	—	●一時避難場所
20	内郷	向浜生活改善センター ※1	向浜208	—	●一時避難場所
21	向浜	上ノ国高等学校	大留351	55-3766	●広域避難場所
22		オコセ地区	北村	—	●一時避難場所
23		上ノ国町民球技場 ※1	大留44-3外	55-2230	●一時避難場所
24	上ノ国	上ノ国町高齢者能力活用センター	勝山274-7	55-3527	●一時避難場所
25	勝山	上ノ国中学校	勝山39	55-2028	●広域避難場所
26		花沢公園	勝山150外	55-2311	●一時避難場所
27		夷王山レストハウス前	勝山520	55-3635	●一時避難場所

番号	対象地区	名称	所在地	電話番号	広域避難場所/一時避難場所
28	原歌	原歌生活改善センター ※2	原歌72	—	●一時避難場所
29	大崎	大崎生活改善センター	大崎186-1	—	●一時避難場所
30		国道228号	—	52-0107	●一時避難場所
31		日本海情報交流館「文珠」	原歌25外	55-3949	●広域避難場所
32	木ノ子	木ノ子児童館 ※2	木ノ子14-2	—	●一時避難場所
33	扇石	(大安在地区)裏山の高台	—	—	●一時避難場所
34	汐吹	木ノ子浄水場	木ノ子615-2外	55-2311	●一時避難場所
35		扇谷秀一宅裏山	木ノ子	—	●一時避難場所
36		光明寺裏山(墓地)	木ノ子	58-5005	●一時避難場所
37		稲荷神社裏山(国道228号) ※2	木ノ子	52-0107	●一時避難場所
38		タンコウノ沢線(国道228号)	木ノ子	52-0107	●一時避難場所
39		扇石地区多目的集会施設 ※2	扇石84	—	●一時避難場所
40		木村繁雄宅裏山(国道228号)	扇石	52-0107	●一時避難場所
41		太田正司宅裏山(国道228号)	扇石	52-0107	●一時避難場所
42		市山義光宅裏山(国道228号)	扇石	52-0107	●一時避難場所
43		横山スタンド横町道(国道228号)	扇石	52-0107	●一時避難場所
44		汐吹生活館	汐吹184-1	58-5667	●一時避難場所
45		照光寺裏(墓地)	汐吹	58-5243	●一時避難場所
46		笠谷育蔵宅裏山(国道228号)	汐吹	52-0107	●一時避難場所
47		川合豊次郎宅裏山(国道228号)	汐吹	52-0107	●一時避難場所
48		汐吹地区緑地公園	汐吹	55-2311	●一時避難場所
49		滝沢小学校 ※2	木ノ子192	58-5036	●広域避難場所
50	石崎	池田豊宅裏山 ※2	石崎	—	●一時避難場所
51		法香寺(墓地) ※2	石崎	59-2534	●一時避難場所
52		八幡神社横(公営住宅)	石崎	55-2311	●一時避難場所
53		比石の館跡	館野	—	●一時避難場所
54		早川小学校 ※2	早川331-1	59-2343	●広域避難場所
55		石崎青少年広場	石崎282外	55-2230	●一時避難場所
56	小砂子	小砂子小学校	小砂子163の2	59-2354	●広域避難場所

ふうすいがい ころえ 3.風水害の心得

「風水害」とは、強風、大雨、洪水などの自然災害のことです。これらは、毎年のように全国各地に大きな災害をもたらしています。平成21年7月に記録的な大雨を観測した「中国・九州北部豪雨」では、死者30名、負傷者46名、土砂災害の発生、家屋の浸水などの被害が発生しました。このような、自然災害から身を守るためには、様々な自然現象について正しい知識を持ち、災害時にとるべき行動を日頃から身につけておくことが重要です。また、大雨や台風は、襲来時期や規模をある程度予測することができるので、日頃から気象情報を気かけ、最新の情報を得るように心掛けましょう。

大雨について知っておきましょう

にわか雨

単独の積乱雲から降る雨による影響は、短時間で局地的な範囲に限られます。このような雨は、急に降り出し短時間で降り終わります。

局地的大雨

大気の状態が不安定な場合、積乱雲は発達し、より強い雨をもたらします。単独の積乱雲が発達することにより起きるもので一時的に雨が強まり、局地的に数十mm程度の総雨量となります。

集中豪雨

前線や低気圧などの影響や雨を降らせやすい地形の効果によって積乱雲が同じ場所で次々と発生、発達を繰り返すことにより起きるもので激しい雨が数時間にわたって降り続き、狭い地域で数百mmの総雨量となります。

局地的大雨から身を守るために

局地的大雨は、積乱雲によって、急に強い雨が降り、降った雨が低い場所へ一気に流れ込むため、総雨量が少なくても、十数分で甚大な被害が発生することがあります。最新の気象情報を確認するとともに、空や川の変化の様子を観察し、危険を感じたら、すぐに避難しましょう。

このようなときは注意しましょう

- 最新の天気予報で「大気の状態が不安定」「雷・突風・ひょうに注意!!」といった局地的大雨になりやすい気象状況の時は注意しましょう。
- 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなったり、雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたら注意しましょう。
- ヒヤッとした冷たい風が吹き出したら注意しましょう。
- 大粒の雨やひょうが降り出したら注意しましょう。



このような現象で雨が降り始めたら、**水辺から急いで高い所へ避難する。地下ガレージには近づかない、離れる。**といった行動をとりましょう。過去に、河川内の親水公園で水遊びをしていた子供たちが流され、その内5人が亡くなったことがあります。また、冠水したアンダーパスを通った自動車が水没して女性が亡くなったことがあります。

集中豪雨から身を守るために

非常に激しい雨が、何時間も同じ場所に降り続けると、大きな災害になります。平成16年7月新潟・福島豪雨、福井豪雨、平成21年7月中国・九州北部豪雨などの大雨災害は集中豪雨によるものです。

どんなときに発生するのか、知っておきましょう。

- 前線が停滞しているとき(梅雨期の終わり頃)
- 台風が近づいているとき
- 大気不安定な状態が続き、次々と雷雲が発生するとき

このようなことが起きるので注意しましょう!!

- 河川のはん濫
- 家屋の浸水、道路の冠水
- 土砂災害
- 地下室へ水が流れ込む



最新の気象情報を確認しましょう

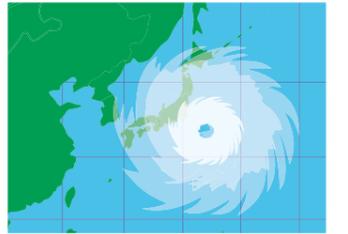
大雨から身を守るためには、局地的大雨になりやすい気象状況(大気の状態が不安定、急な雷に注意)や、警報、注意報が発表されていないかなど、最新の気象情報を確認することが大切です。



台風の特徴を知っておきましょう

台風とは

熱帯地方の海上に発生する低気圧のことを「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋に存在し、最大風速(10分間平均)がおよそ17m/s以上の熱帯低気圧を「台風」と呼びます。



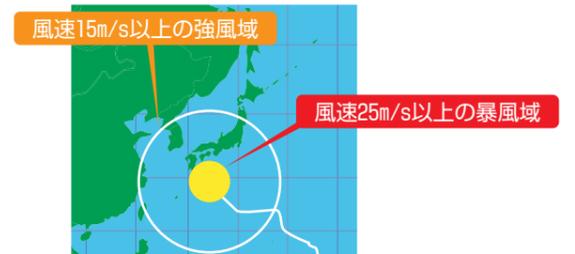
台風の強さ

台風の規模を、おおよその勢力の目安として「大きさ」と「強さ」で示されます。

大きさ		強さ	
階級	風速15m/s以上の半径	階級	最大風速(秒速)
大型	500km以上~800km未満	強い	33m/s以上~44m/s
超大型	800km以上	非常に強い	44m/s以上~54m/s
		猛烈な	54m/s以上

強風域と暴風域

- ◎**強風域** 風速が15m/s以上の風が吹いているか、地形の影響がない場合に吹く可能性のある範囲
- ◎**暴風域** 風速が25m/s以上の風が吹いているか、地形の影響がない場合に吹く可能性のある範囲



台風に関する予報

気象庁から、3時間間隔で台風の中心位置、中心気圧、最大風速、強風域、暴風域などの解析値、中心が到達すると予想される範囲と暴風域に含まれる可能性のある地域(暴風警戒域)などの最大5日先までの予報が発表されます。最新の台風情報に気をつけて、台風へ備えましょう。台風の備え(洪水・強風災害の対策)は7ページを参考にしましょう。



台風に伴う雨の特性

台風がもたらす雨は短時間で大量の雨が広い範囲に降るため、河川が増水したり、堤防が決壊したりして浸水や洪水が起こりやすくなります。また、がけ崩れや土石流の発生などの土砂災害も起こりやすくなります。さらに、近年、アウトドアレジャーが盛んになり、キャンプをする人が増えてきていますが、河川の上流域に降った雨による増水で河川の中洲などに取り残されて救助を求めることも増えています。自分が居る場所の雨の降り方に注意するとともに、河川の上流域の雨の降り方にも注意する必要があります。

台風が弱くなっても油断は禁物

台風は、日本付近に進んで北から寒気の影響が加わると、その構造が変化し寒気と暖気の境である前線を伴う「温帯低気圧」に変わります。「温帯低気圧」は一般に強い風の範囲が広く、寒気の影響で再発達することがあり、低気圧の中心から離れた場所でも災害が起こるので注意が必要です。また、台風がそのまま衰えて「熱帯低気圧」に変わる場合もありますが、この場合は最大風速が17m/s未満になっただけなので、「温帯低気圧」、「熱帯低気圧」いずれの場合も消滅するまで油断は禁物です。

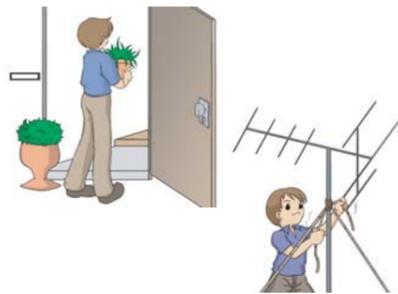
日頃から風水害対策をしておきましょう

- 1 屋根、外壁、窓ガラス、ブロック塀などは日頃から点検して、不備な箇所は補修しておきましょう。
- 2 側溝や排水溝は掃除をして、水はけをよくしておきましょう。(落ち葉などが原因となり、床下浸水したケースもあります。)
- 3 家族などの安否確認ができるよう連絡方法と待ち合わせ場所、避難場所を決めておきましょう。
- 4 自宅の周りや地域に、大雨による災害や浸水が発生する場所がないか確認しておきましょう。
- 5 非常持出品を揃えて、いつでも持ち出せるように準備しておきましょう。非常持出品については、2ページに掲載しています。



台風対策方法を知っておきましょう

- 1 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて外から板を打ち付けて補強しておきましょう。
- 2 庭木に支柱を立てたり、塀を補強しておきましょう。
- 3 煙突やアンテナなどは支線を張り補強しておきましょう。
- 4 風で飛ばされそうな物はしっかりと固定しておきましょう。
- 5 植木鉢など飛ばされる危険があるものは、室内に取り込みましょう。
- 6 風が強い場合には、窓を閉めカーテンを閉めておきましょう。
- 7 雨や風が強くなってから対策を始めるのは危険が伴いますので、接近が予測された時に、早めに準備をし、危険と判断されたら、早めに避難をしましょう。



風水害の注意点を覚えておきましょう

自分だけは大丈夫と思いませんか!?

台風や低気圧が来て大雨が降っている時に、川の様子を見に行ったりは、増水に巻き込まれる可能性があるため危険です。また、猛烈な風が吹いている時に屋根の修理などをしては危険です。屋根から落ちて命を落とす危険があります。



情報が大切です!!

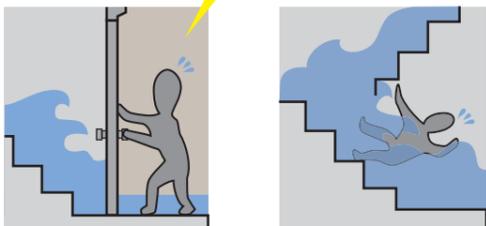
地震は発生するまでわかりませんが、台風や大雨などの気象情報は数日前から予報されます。テレビやラジオ、インターネットを活用して、風水害に備えましょう。また、最新の情報を入手することが大切です。



被害を受けやすい箇所を知っておきましょう

台風や発達した低気圧の際には、川、急な斜面、地下室、アンダーパスなどが被害を受けやすい場所です。このような場所の近くに住んでいたり、遊んでいたら早めに避難するなど注意が必要です。

ドアが開かない!!!



見えない所に危険があります。早めの避難が大事です

道路が水浸しになったときに、水が濁ってどこが溝なのか分からなくなってしまいます。また、マンホールの蓋がなくなっていることに気づかずに落ちてしまうことがあります。このように災害時には普段では気づかない危険があるので、正しい情報を聞いて早めに避難することが大切です。また、浸水の深さが浅いからといって安全ではありません。水の流れの速い所を避難すると非常に危険です。避難が遅れた場合には、住宅の2階や高い所で助けを呼ぶことが大事です。



どしゃさいがい ころえ 4. 土砂災害の心得

1 雨に注意



土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上、または、降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。

2 前ぶれ現象に注意

前ぶれ現象を察知した場合には、土砂災害が発生する可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。

がけ崩れ



小石がパラパラ落ちてくる。

がけから、水がわき出てくる。

斜面のひび割れ、変形が見られる。

土石流



山鳴りがする。

川の流れが濁り流木が混ざりはじめる。

雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。

地すべり



がけや斜面から水が吹き出す。

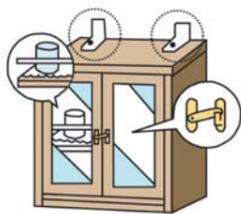
地面にひび割れができる。

沢や井戸の水が濁る。

じしん ころえ 5.地震の心得

阪神・淡路大震災では、犠牲者の約9割が建物の中で、そのうちの約8割が家屋の倒壊や家具類などの転倒による圧迫死でした。地震が起きても家具の転倒などで、いのちを落したり、ケガをしないよう、家具の固定などの安全対策をしっかりと行いましょう。

- ① 寝室の補強を最優先に考えましょう。
洋服タンスや本棚などが倒れても当たらない距離で寝ているかなどを考慮して、ほかの部屋へのタンスの移動が困難であれば必ず固定しましょう。
- ② ドアの付近に家具を置かない。
倒れた家具が通り道をふさぐ可能性もあります。ドア付近から移動するか、できなければ必ず固定しましょう。
- ③ 室内落下物の防止
高い所には重い物を置かない。本棚やロッカーには、重い物は下へ、軽い物は上へ置きましょう。
★詳しくは総務省消防庁のホームページを見てみましょう。
<http://www.fdma.go.jp/html/life/kagui.html>



つなみ ころえ 6.津波の心得

- ① 津波は繰り返し襲ってきます。
津波警報や注意報が発表されたら解除されるまで、海岸には近づいてはいけません。
- ③ 津波は突然襲ってくることもあります。必ず引き潮から始まるものではありません。



- ② 津波は陸上を駆け上がり、家や車をさらっていくほどの破壊力を持っていることがあります。
- ④ 津波は海岸付近の浅いところで急激に高くなります。
海岸で津波が見えてからでは、逃げ切れません。



ぼうさい はな あ 7.防災について話し合っておきましょう

日頃から町内会等で防災について話し合い、災害が発生したときに助け合い、協力しあうことが減災につながります。災害時に避難の援護を必要とする高齢者や身障者の方が自分の住んでいる周囲にいないのかを把握しておきましょう。

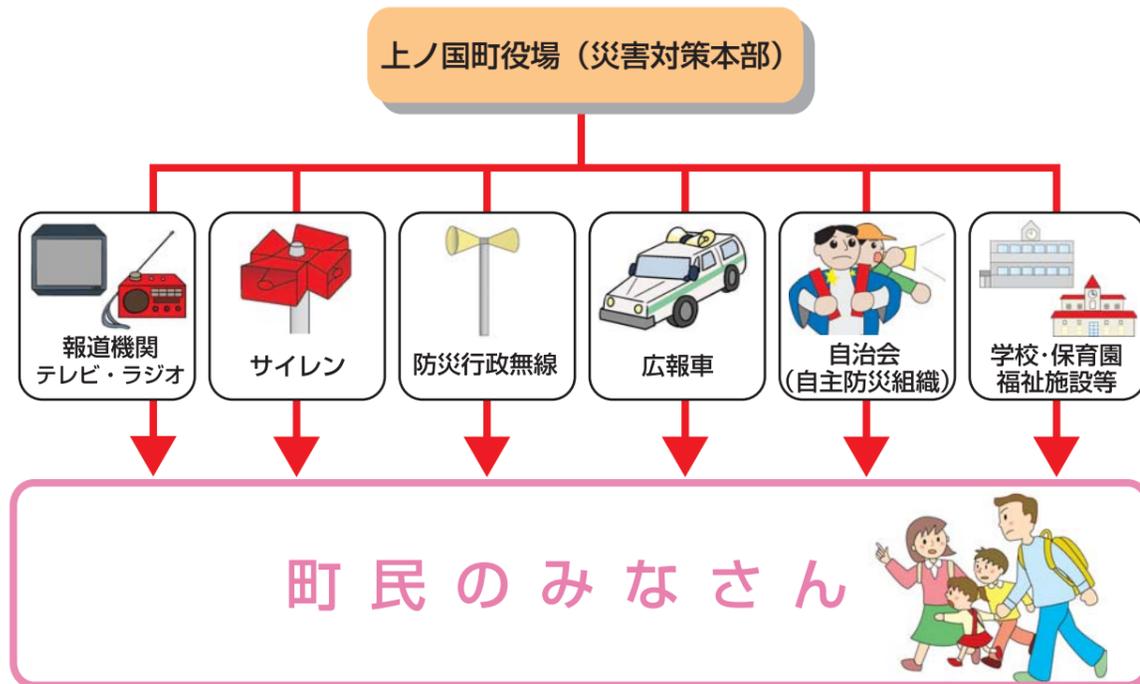
平常時	地域コミュニケーション 防災訓練
災害時	初期消火 救出・救助 情報の収集・伝達 避難誘導 避難所内での助け合い



ひなんじょうほう はつれい とき こうどう 8.避難情報が発令！！その時、とるべき行動！！

災害情報の伝達方法

災害が発生した場合、自主的に判断して避難するほか、町では下記の方法で避難勧告・指示をしますので、その際は速やかに避難場所などへ避難してください。



避難情報に従いましょう

災害被害の危険から、みなさんの人命を守るために発令されます。避難情報の種類を把握し、早めの避難を心掛けましょう。

避難準備：人的被害の発生する可能性が高まった時に発令します。

災害時要援護者等、避難行動に時間を要する人が避難行動を開始しなければならない段階。

種類	拘束力
避難準備	弱
避難勧告	中
避難指示	強

こんな時に発令されます。

- ★気象台から大雨、暴風又は洪水の警報が発表され、避難しなければならない状況になったとき。
- ★近隣で湧き水、地下水の濁りや量の変化といった土砂災害の前ぶれ現象が確認されたとき。
- ★河川の水位が「はん濫注意水位※(P12図参照)」を超えて、なお上昇が予想される時。

発表例

〇〇時間後に△△川の水位が危険な水位に達するおそれがあります。避難に時間がかかる方は、最寄りの「避難場所」へ避難を開始してください。

とるべき行動

- ★避難に時間を要する人は避難を開始してください。
- ★家族との連絡、非常持出品の用意をして避難の準備を開始してください。
- ★災害時要援護者の家族や隣近所の方々は避難の手助けを開始してください。



避難勧告：人的被害の発生する可能性が明らかに高まった時に発令します。

通常の避難行動ができる人が避難行動を開始しなければならない段階。

こんな時に発令されます。

- ★近隣で斜面の崩壊、擁壁等の亀裂やひび割れ等の土砂災害の前ぶれ現象が発見されたとき。
- ★土砂災害警戒情報が発令され、今後、なお、雨量が増すと予想されるなど危険が高まると判断されたとき。
- ★河川の水位が「避難判断水位※(P 12 図参照)」を超えて、なお上昇が予想される時。

発表例

△△川の堤防が決壊するおそれがありますので、避難をはじめてください。



とるべき行動

通常の避難行動ができる人は指定の「避難場所」へ避難を開始してください。

避難指示：人的被害が発生する可能性が非常に高いと判断された状況及び人的被害が発生した状況の時に発令します。

避難勧告等の発令中で避難中の住民は確実に避難行動を直ちに完了しなければならない段階。

こんな時に発令されます。

- ★近隣で土砂災害が発生したとき。
- ★近隣で土砂移動現象、山鳴り、流木の流出、斜面の亀裂等の重大な土砂災害の前ぶれ現象が発見されたとき。
- ★河川の水位が「はん濫危険水位※(P 12 図参照)」を超えて、なお上昇が予想される時。

発表例

△△川の堤防が決壊する危険があります。直ちに避難を開始してください。



とるべき行動

- ★避難勧告の発令で避難中の人は直ちに避難を完了してください。
- ★まだ避難を完了していない人は直ちに避難を完了するか、避難に間に合えば、命を守るための最低限の行動を行いましょう。

災害時要援護者への手助けをお願いします

災害が発生したときは、高齢者や心身にしょうがいのある人、乳幼児や妊産婦などの災害時要援護者の方には特別な配慮が必要です。身近にいる災害時要援護者の方々への手助け、気配りをお願いします。

高齢者・寝たきりの方

- 緊急の時は、おぶって安全な場所まで避難する。
- 不安を取り除くような言葉をかける。

肢体の不自由な方

- 階段では、2人以上が必要です。上がりは前向き、下りは後ろ向きにて移動する。
- 介助者が1人の場合、おぶさりひもなどを用意しおぶって避難する。

耳が不自由な方

- 話すときは、口の開け方をハッキリとし、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

知的しょうがいのある方

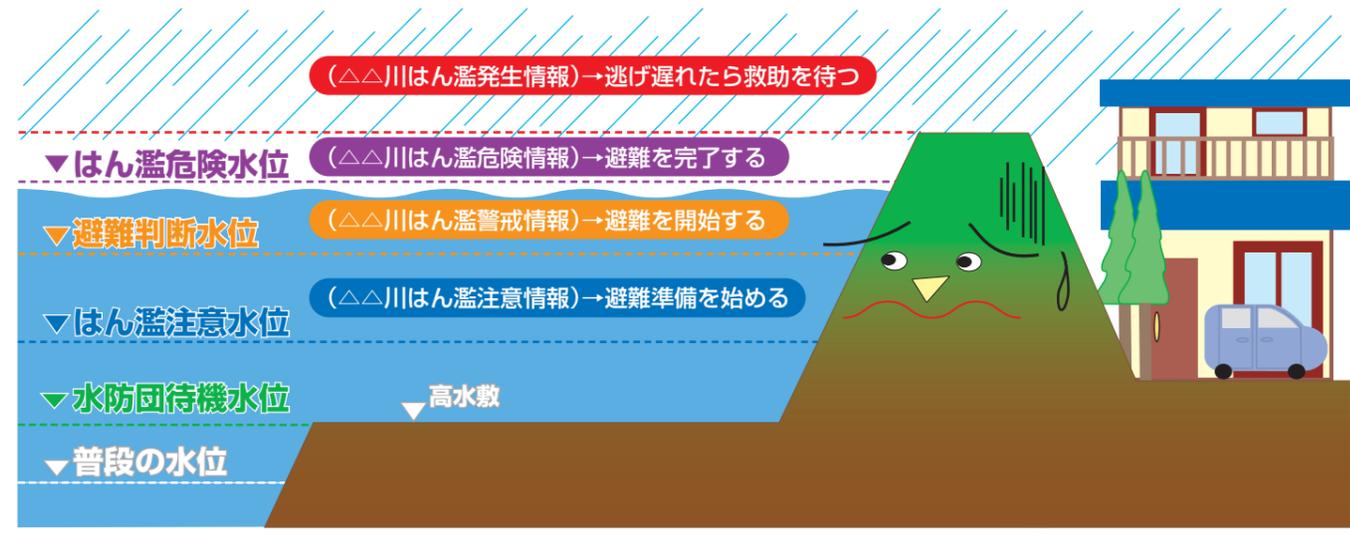
- あわてないように優しい声で指示を出すか、手をとって安全な行動を促す。

目の不自由な方

- 災害時には、声をかけ情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手に触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい半歩前をゆっくり歩く。

洪水情報が発令！その時、とるべき行動！！

大雨の影響で河川の水位が上昇し、はん濫します。雨の降り方や住んでいる地域で異なりますので気象情報や避難情報に注意し避難の準備をしましょう。



津波情報が発令！！その時、とるべき行動！！

- 強い地震（震度4程度）を感じたときや、弱い地震が長い時間ゆっくりと感じたときは直ちに海浜から離れ、急いで高台などの安全な場所に避難しましょう。
- 地震を感じなくても、津波警報が発表されたら直ちに海浜から離れ、急いで高台などの安全な場所に避難しましょう。
- 地震後は噂やデマに惑わされず、正しい情報に基づいて行動しましょう。
- もし、高台が近くにない場合にはコンクリート造りの高い建物のなるべく高階層に避難しましょう。
- 避難は徒歩が原則です。車による避難は渋滞を引き起こし、一刻を争う津波からの避難にかえって危険です。



津波情報	発表される津波の高さ
津波警報（大津波）	3m、4m、6m、10m以上
津波警報（津波）	1m、2m
津波注意報	0.5m

地震が発生した時、とるべき行動！！

家の中で地震にあったら

- ★丈夫な机やテーブルの下へもぐり、身を守りましょう。
- ★揺れがおさまったら、すばやく暖房器具、調理器具などの火の元を確認しましょう。
- ★建物が傾くとドアが開かなくなるので、ドアを開けて出口を確保しましょう。
- ★落下物に注意し、慌てず外へ出ましょう。



デパートやスーパーで地震にあったら

- ★倒れやすいショーケースやショーウィンドウから離れて、壁際や柱に身を寄せましょう。
- ★慌てず、係員の指示に従いましょう。
- ★エレベーターやエスカレーターを使用せず、階段を使用しましょう。



路上を歩いている時に地震にあったら

- ★落下物から身を守るため、カバンやバッグで頭を保護しましょう。
- ★ブロック塀や自動販売機のそばから離れましょう。
- ★近くの公園やグラウンドを早急に見つけ出し、避難しましょう。
- ★道路の亀裂などに十分注意し、避難しましょう。



運転中に地震にあったら

- ★ゆっくりと車を道路の左側へ寄せて止まりましょう。
- ★ラジオで地震情報を聞いて状況を調べましょう。
- ★緊急車両の通行の妨げにならないように、状況がわかるまで停車しましょう。

海岸で地震にあったら

- ★ただちに海岸から離れ、いち早く高台に避難しましょう。
- ★津波情報をよく聞き、解除されるまで海岸に近づかないようにしましょう。



土石災害危険箇所地震にあったら

- ★防災マップでがけ崩れや土石流危険箇所を日頃から確認しておき、その危険箇所にいる場合は直ちに安全な場所へ避難しましょう。



避難時の注意点を覚えておきましょう

洪水の時

！ 浸水の深さに注意
歩行が可能な水深は、ひざ下までです(流れがある場合は、足首までが限界)。避難できない水深まできたら、建物の2階など高い所に避難しましょう。



！ はき物に注意
裸足、長靴は禁物です。ひもで締められている運動靴をはいて避難しましょう。



！ 段差、溝に注意
水面下には、マンホールや側溝など危険な場所があります。長い棒などを杖代わりにして確認しながら歩きましょう。



！ 子供から目を離さない
はぐれないように、身体をロープで結んで避難しましょう。



土砂災害の時

！ 土石流はスピードが早いため、流れを背にしては、すぐに追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げましょう。



家を空ける時

- ！ 電気のブレーカーを落とす。
- ！ ガスの元栓を閉める。
- ！ ストープを消す。
- ！ 戸締まりをしっかりと行う。

家族の安否を知りたい・知らせたい！！

安否情報などを家族や知人に知らせる方法を家族で確認しておきましょう。

災害用伝言ダイヤル171

家庭などの固定電話を利用してメッセージを録音、再生できるサービスです。

覚えてください、
災害時の声の伝言板
災害用伝言ダイヤル
171

伝言の録音方法

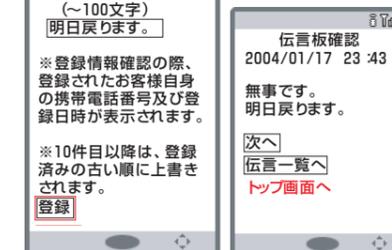
171にダイヤルする
ガイダンスが流れます
録音の場合 1
(××××)××-××××

伝言の再生方法

171にダイヤルする
ガイダンスが流れます
再生の場合 2
(××××)××-××××

災害用伝言板サービス

携帯電話を利用して安否を登録、閲覧できるサービスです。使用に当たっては、携帯電話会社のホームページで確認しておきましょう。



災害情報はここから！！

防災気象情報	気象庁	http://www.jma.go.jp/jma/index.html	
河川情報	国土交通省 川の防災情報	http://www.river.go.jp	パソコン版
		http://i.river.go.jp	携帯版
防災情報	北海道防災情報	http://www2.bousai-hokkaido.jp/pc	パソコン版
		http://www2.bousai-hokkaido.jp/mobile	携帯版